


システムインフォメーションディスプレイ

	ユーザーマニュアルは以下にてご覧いただけます。 http://si.shimano.com
--	---

重要なお知らせ

- ユーザーマニュアルに記載されていない自転車への取付け、調整などにつきましては購入された販売店または代理店へご相談ください。なお、自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方向けのディーラーマニュアルはウェブサイト (http://si.shimano.com) で公開しています。
- 製品の分解、改造はおこなわないでください。
- Bluetooth®のフードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社シマノはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

安全のため、必ずこの「ユーザーマニュアル」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

安全のために必ずお守りください

交換作業を必要とする事項は販売店または代理店へご相談ください。

警告

- シフトスイッチを操作すると、フロントディレイルの強力なモーターはシフト位置まで止まることなく動作しますので指を挟まないようにしてください。**
- ユーザーマニュアルはよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- システムインフォメーションディスプレイを使用する際は、下記のいずれかのユニットとセットでご使用ください。

外装式：BM-DN100、内蔵式：BT-DN110
- 使用していないターミナルには必ずダミープラグを取付けてください。水分の侵入により、故障あるいはサビの原因となります。
- 小型防水コネクタのため、抜き差しを極端に繰り返さないでください。機能が損なわれることがあります。
- ターミナル部を水で濡らさないようにご注意ください。
- 雨天走行に耐える防水設計ですが水中にはつけないでください。
- 高圧洗車は行わないでください。水分の侵入により、故障あるいはサビの原因となります。
- 製品は丁寧に扱い、強い衝撃を与えないでください。
- 清掃の際にシンナーなどを使用しないでください。表面をいためる恐れがあります。
- 製品のソフトウェアのアップデートは販売店にご相談ください。最新情報はシマノのホームページに公開されます。
- スマートフォン・タブレット端末向けE-TUBE PROJECTを使用していない時は、Bluetooth LE接続を解除してください。Bluetooth LE接続を解除せずにシステムインフォメーションディスプレイを使用すると、バッテリー消費量が高くなる可能性があります。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の経年劣化は保証いたしません。

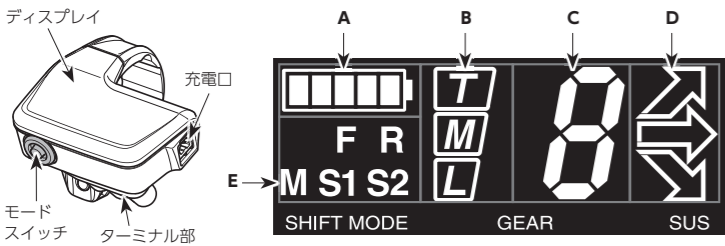
乗車前の日常点検項目

乗車前には下記に記載する項目を点検ください。異常があった場合は販売店または代理店へご相談ください。







- システムインフォメーションディスプレイはハンドルにしっかり取付いていますか。
- バッテリーの残量は十分にありますか。
- エレクトリックワイヤーは断線していませんか。
- ターミナル部にダミープラグが取付いていますか。

各部の名称

接続されるコンポーネントおよびソフトウェアのバージョンにより、表示・選択ができない項目があります。お使いの製品で使用可能な項目については、販売店にご相談ください。

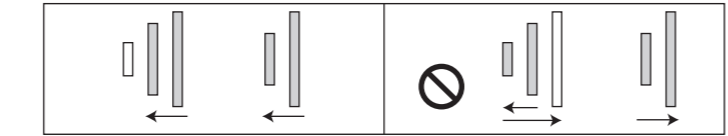


A	バッテリー残量	D	サスペンション設定
B	フロントディレイルー　ギア位置	E	動作モード
C	リアディレイルー　ギア位置/RDプロテクションリセットモード		

表示	バッテリーレベル	表示	バッテリーレベル
	81%～ 100%		26%～ 40%
	61%～ 80%		1%～ 25% ^{*1*2*3}
	41%～ 60%		0% ^{*3}

* 1　バッテリー残量が少なくなると、サスペンションの操作はロック解除方向のみに限定されます。まずリアサスペンションの操作が限定され、続いてフロントサスペンションの操作も同様に限定されます。




* 2　バッテリー残量が5%を切ると、フロントディレイルーの動作が限定されます。



* 3　バッテリー残量不足の場合、サスペンション、ディレイルー共に動作しなくなり、ディレイルーは最後に変速した位置で固定されます。入力操作時、バッテリー表示部が2秒間点滅します。早めのバッテリー充電をお勧めします。


B. フロントディレイルー　ギア位置

フロントディレイルーのギア位置を表示します。

表示	ギア位置
	最大ギア
	中間ギア
	最小ギア



* ダブル仕様の場合、最大ギア、最小ギアのみを表示します。

C. リアディレイルー　ギア位置/RDプロテクションリセットモード

表示	内容
数字表記	リアディレイルーのギア位置を表示します。
	RDプロテクションリセットを行います。

D. サスペンション設定

フロントサスペンションとリアサスペンションの組み合わせを3種類設定できます。





表示	内容
	サスペンション設定が入力されている場合、画面の表示から任意の設定を選択できます。 ^{*1*2}
	サスペンション設定が入力されていない場合、サスペンションが接続されていない場合、またはバッテリー残量が不足している場合、ブランク表示になります。

* 1　サスペンション設定はE-TUBE PROJECTで行います。詳しくは販売店または代理店にご相談ください。

* 2　使用されるサスペンションの種類により、初期出荷状態でサスペンション設定がされている場合があります。ご使用の際はシステムインフォメーションディスプレイの画面表示を確認の上、矢印が表示されている場合は設定内容を必ずご確認ください。

E. 動作モード

動作モードを表示します。

表示	モード	内容
	フロントディレイルー/リアディレイルー　アジャスト	アジャスト設定を行うモードです。設定方法については販売店または代理店にお問い合わせください。
	マニュアルシフト	ギア変速を手動で行います。
	シフトモード1	E-TUBE PROJECTで設定したシフトモードを使用できます。
	シフトモード2	

機能について

サイクルコンピュータとの接続

システムインフォメーションディスプレイは、ANT+™ 接続またはBluetooth® LE接続に対応するサイクルコンピュータまたは受信機に下記の4つの情報を無線で送信します。

- ギア段数情報（フロント、リア）
- DI2バッテリー残量情報
- アジャストモード情報
- D-FLY チャンネルスイッチ情報

上記のうちどの情報が表示されるかは、ご使用になられるサイクルコンピュータまたは受信機の説明書をご確認ください。

* 最新の機能については、E-TUBE PROJECTを使用してソフトウェアのアップデートを行うことによりご確認ください。詳しくは販売店にお問い合わせください。

E-TUBE PROJECTとの接続

Bluetooth LEでスマートフォン、またはタブレット端末と接続する事で、スマートフォン・タブレット端末向けE-TUBE PROJECTが使用できます。

接続方法について

サイクルコンピュータとの接続

接続は、対応するサイクルコンピュータが「接続モード」の状態になっている必要があります。サイクルコンピュータを接続モードにする方法は、ご使用になられるサイクルコンピュータの説明書をご確認ください。

- サイクルコンピュータを接続モードにします。
- 変速操作を行います。

変速操作を行っても接続できない場合は、下記の操作を行ってください。

■外装式バッテリーをご使用の場合

システムインフォメーションディスプレイにエレクトリックワイヤーが接続されている事を確認し、その状態で外装式バッテリーをいったん取外し、再度装着してください。

■内蔵式バッテリーをご使用の場合

システムインフォメーションディスプレイにエレクトリックワイヤーが接続されている事を確認し、その状態でシステムインフォメーションディスプレイに接続されているエレクトリックワイヤーをいったん取外し、再度接続してください。

(バッテリー再装着あるいはシステムインフォメーションディスプレイへのエレクトリックワイヤー再接続から約30秒間で接続の通信を行います。)
- 以上で接続は完了です。

接続が成功したかどうかはご使用のサイクルコンピュータ上で確認してください。

上記の方法で接続ができない場合は、ご使用のサイクルコンピュータの取扱説明書をご確認ください。

ギア段数やDI2バッテリー残量の表示方法はサイクルコンピュータの説明書をご確認ください。

E-TUBE PROJECTとの接続

設定を行う前にスマートフォン、またはタブレット端末のBluetooth LE機能をオンにしてください。

1) E-TUBE PROJECTを起動させ、Bluetooth LE接続待ち状態にしてください。

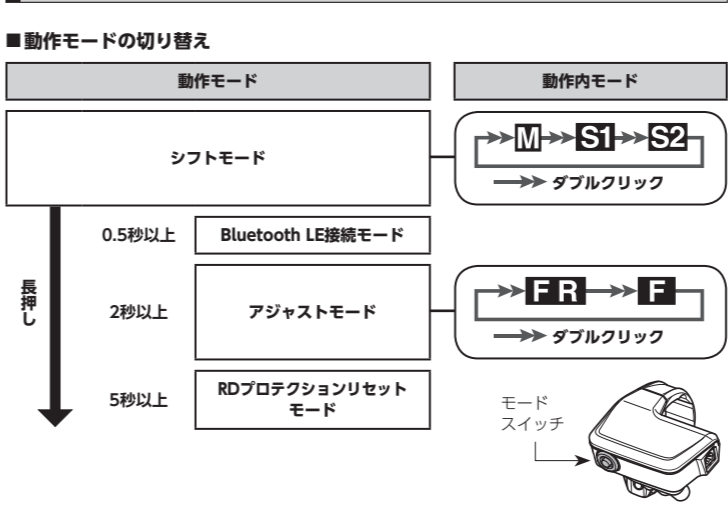
2) ディスプレイに「C」が表示されるまで、自転車側のモードスイッチを押してください。自転車側が接続準備状態となります。E-TUBE PROJECTの画面上にユニット名が表示されます。

- 自転車側が接続準備状態となった時点で、モードスイッチまたはボタンから指を離してください。モードスイッチまたはボタンを押し続けると、別のモードになります。

3) 画面に表示されたユニット名を選択してください。

* 接続を解除したい場合は、スマートフォン、またはタブレット端末側でBluetooth LE接続の切断を実行してください。(自転車側が接続モードから通常動作モードになります。)

操作方法



アジャストモード、RDプロテクションリセットモードを終了する場合は0.5秒以上長押ししてください。

設定方法については販売店または代理店にお問い合わせください。

■RDプロテクション機能について

RDプロテクション機能からの復旧操作は、フロントチェーンホイールを回しながら行ってください。

転倒などからシステムを保護するため、リアディレイルーに強い衝撃を受けるとRDプロテクション機能が働きます。モーターとリンク部の接続が一時的に解除されリアディレイルーが正しく動作しなくなります。この時、モードスイッチを5秒以上押し続けます。モーターとリンク部の接続が回復し、リアディレイルーがRDプロテクション機能から復旧します。スイッチ操作で復旧しない場合は手で復旧させる方法もありますので、事前に販売店でご確認ください。



■シフトモード設定

リアギアの位置に応じてフロントギアの位置を切り替えます。設定はE-TUBE PROJECTで変更可能です。詳しくは販売店または代理店にご相談ください。

■お知らせ音について

ギア操作の際、特定の状況でお知らせ音が設定されています。

鳴り方	状況
ピッ	ギアが変速限界に入ったことを通知します。(フロント/リア共にトップギア、フロント/リア共にローギアの場合)
ピッピー	シフトモードの際、フロントギアが変速するタイミングを通知します。次の操作でフロントギアが変速する時に音が鳴ります。
ピー	バッテリー残量不足により、フロントディレイルーが変速不可となったことを通知します。音が消えた後も点滅します。(操作時、1回のみ通知)
	サスペンションのエラーを通知します。サスペンション部の矢印全てが点滅し、音が消えた後も点滅は2秒続きます。